

61

、です」

と話してい

ま

ĺ

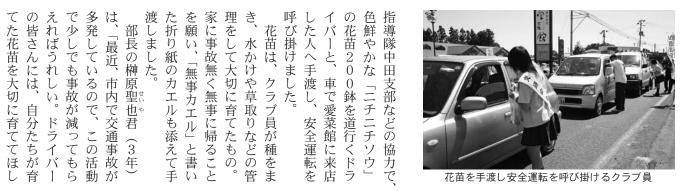
た

U

活動にはクラブ員約40人が を愛菜館」前で行われました。 キャンペーン」が6月29日、 通安全活動「セーフティー 参加。 全活動「セーフティー沼高農業クラブによる交 佐沼警察署、 交通安全



活動には佐沼警察署・交通安全指導隊員も参加





握手をして災害時の連携を円滑に進めることを誓いました

生を予測し被 害は、その発 し、その発 止と復旧に協 での施設利用、 なければいけ 『減災』の活動 ませ、 害を完全に無 なって 連携すること 防災と併 力する内容と 機関が協力、 きないので、 くすことはで 布施市長は h います。 関係 せ

57

とあ

いさつしまし

た。

また、

7

月6日には宮城県

災害時相互応援協定締結式が北と岩手県南の自治体による

関市役所で開かれ、

井林

ま助

Ų

協定を締結し



協定書に署名する布施市長と5事業所の出席者



空芯菜の苗床をいかだに乗せる「長沼野菜いかだの会」のメンバーら

かだの会会長 長沼野菜い 参加者約22 参加する なあります ん(迫町)は、 は、 今 (迫町) 長沼で約 年 -は 協 íます。 る特徴 リン 30 人 力は を

> 団体も増え、 していただきました。 多くの方に参加

い」 と話 識を高めてもらう活動を広め、長沼と長沼川の水質浄化の意 なお、 と話していました。 8月1日から始まる いな水を取り 今後も 戻した 空

沼親 試食できる「長沼・水環境フ 芯菜を練り込んだはっとや加 「長沼はすまつり」に併せ、 前 したジュー n10時から左 が8月5、 水公園で開催 時から午後3時 Ż, 6 日 の 2 日間 ・水環境フェ さ れ まで ます 長

Τ.



投球練習をしました。 方のアドバイスを受けながら、 い体重移動の方法や腕の振り 導。バッ テ リ ー 組 の ピッイントなどを実技を交えて指球の基礎や強い打球を打つポ大島さんは内外野手に、捕 喜君(2年) チャ 大島さんは内外野手に、れて指導を受けました。 は、 武田さんから正 U

り入れて、 できるようになりました。 げで、相手の胸へ正確に送 えてもらっ と話し いま 1 た。

災害時 市内5業者 0 応 隣接自治体と応援協定締 援 体制を万全 に 結

場合に備え、生活物資や防災どで大規模な災害が発生した地震や風水害、林野火災な 定を締結しま 市と市内の5事業所が応援協 められるように、 資機材などの供給を円 協定を締結したのは、 した。 6 月 7 20 滑 し 後 に 進 ㈱

活動

花苗を手渡し

安全呼び掛け

上沼高農業クラブ交通安全

コ南方店、 緊急物資の 食料や水、 大規模災害が発生した場合、 北生コン協同組合の5事業所。 ク協会登米本吉支部、 ウ い(株)、イ 1 (社)宮城県トラッ 輸送、 生活用品の供給、 オン パ (株) ジャ エスビ 宮城県 ス食

今後は、医薬品販売業者と協時の応援協定を結んでいます。合、南三陸町とそれぞれ災害

定を取り交わ

す予定で

す

策協議会、みやぎ生活協同組業者で構成する市地域災害支

した。 役が出席

市ではこれ

うる市地域災害対

	成する「長沼野菜いかだの会」	この活動は、地元住民で構	れました。	にする、水質浄化作戦が行わ	菜を水耕栽培して水をきれい	沼と長沼川で6月17日、空芯	刻な水質汚濁問題を抱える長	生活雑排水の流入などで深
濁らす原因の	の材料として料理に使用。育	で、主にサラダやいためもの	空芯菜とは中国原産の野菜	が参加して行われました。	える会、市青年団連絡協議会	市関係者に加え、長沼川を考	実施。今年は迫川土地改良区	が中心となり、平成13年から



いかだは竹や板を使って製作しました

元プロを招き 基本を学ぶ

長沼と長沼川で水質浄化作戦

だできれ

し

な

水

に

NHKジュニア野球教室



(NHK仙台放送局、

市主催) 7球教室

バ

、ッテ

í)

Ν

HKジュニア野



投手に正しい体重移動方法を指導する武田さん

広報】